

北薩の輝き

地域に根ざし、キラリ輝く北薩の教育

北薩教育事務所便り

平成26年度 第2号 6月2日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8771

fax：0996-25-3095

確かな学力の定着に向けて

～平成26年度県公立高等学校入学者選抜学力検査結果から～

「平成26年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要」（以下「学力検査結果の概要」）が、5月中旬から公表されています。その結果をしっかりと分析し、指導法の工夫改善に努めながら、確かな学力の定着に生かしていきたいものです。

学力検査問題の出題に当たっては、学習指導要領に示された目標に則し、小学校から中学校第3学年までの間に学習した内容の中で、主として基礎的・基本的な事項について、出題方法等も工夫しながら、思考力・判断力・表現力等も評価できるように配慮されています。平成26年度の受検者数は、11,678人で、中学校卒業者の71.2%が受検しています。

県全体の平均点の推移及び目安点未満の地区別状況（出身中学校所在地別）は、次のとおりです。

○ 受検者の平均点の年度別推移（県平均） ○ 目安点未満の北薩地区と県の状況（%）

年度	総得点	国語	社会	数学	理科	英語
26	233.0	42.1	53.9	38.9	44.5	53.6
25	228.2	52.9	48.7	37.7	39.7	49.3
24	233.0	53.1	48.4	41.3	46.3	43.8

※ 各教科90点満点

	受検者数	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
北薩	1,332人	5.5	3.9	14.4	7.3	6.3	5.0
県	10,760人	4.2	3.3	12.7	6.8	6.0	4.4

※ 目安点は、基礎的内容の設問の合計点であり、各教科18点としています。国語・社会・数学・理科においては、小学校教材及びその関連教材の内容を含んでいます。

目安点未満の状況を県と比較して見ると、各教科とも課題があるようです。一人一人に基礎的・基本的事項を確実に定着させることが求められます。また、各教科の「大問・小問別正答率と教科指導上の参考」が学力検査結果の概要に示されています。高校教育課は、特に、次の2点を課題として指摘しています。

- ① 各教科とも基礎的・基本的内容については一定の理解をしている。ただし、学習指導要領に新たに加わった学習内容の理解については不十分な点がある（例：数学科「資料の活用」など）。
- ② ある程度の長さの問題文や図・資料等から必要な情報を読み取って考察し、指定された条件や言葉を使って表現する問題は正答率が低い。

上記のことを踏まえて、日々の授業等の工夫改善等を進めていただければと考えています。

なお、学力検査結果の概要につきましては、県教育委員会のホームページに記載されていますので、中学校はもとより小学校においても指導法改善に十分役立てていただくようお願いいたします。

研究協力校として

学校教育上の諸問題の克服を目指して、指導方法の工夫改善等を図りながら児童生徒に確かな学力等を身に付けさせていくことを主な目的として研究協力校をお願いしています。北薩地区の今年度公開予定日が決定している学校は、以下のとおりです。

5月15日(木)には、地区等指定研究協力校校長・研修係等研修会を行いました。例年行っているグループ協議に加えて、昨年度に研究公開をされた出水市立野田小学校の取組も実践発表していただき、好評を得たところで

す。

各学校での充実した取組により、学校の活性化や児童・生徒の大きな成長を期待しています。



野田小学校宮田教諭の発表の様子

学校名	研究内容	公開予定日
阿久根小学校	国語科	平成27年1月29日(木)
折多小学校	国語科	平成26年10月28日(火)
西出水小学校	国語科	平成26年11月19日(水)
永利小学校	算数科	平成26年10月24日(金)
市比野小学校	算数科	平成27年2月6日(金)
鷹巣小学校	外国語活動	平成26年11月28日(金)
米ノ津中学校	生きる力の育成	平成26年10月31日(金)

体力向上推進校(県指定)

学校名	研究内容	公開予定日
薩摩中学校	たくまじい「かごしまっ子」育成	平成26年11月18日(火)

第1回北薩地区校長研修会

北薩教育事務所の平成26年度のキーワードは「一歩踏み出す」「チャレンジする心」「失敗に負けない心」の3点です。4月25日(金)に開催した校長研修会においても、新しい取組として、鹿児島純心女子大学との連携、国立教育政策研究所総括研究官の講話を取り入れました。様々な立場からの学校教育にける思いがアプローチされ、大変有意義な研修会となったと思います。

講師 国立教育政策研究所
教育研究情報センター
千々布敏弥 総括研究官

演題
「学校力を高めるための組織開発」



内容

国の教育に関わる動向や豊富な経験に基づく具体的事例を挙げての説明がなされ、ワークショップ的形態を取り入れた問いかけ等もあって、校長・行政職員の心に届く講演でした。

特に、『学校力を高める組織開発』において教師力を高めるのは学年チームとしての取組が重要であり、個々の能力に関わらず、組織としての力を高めることが求められている。」という言葉に、授業力の基盤を固めることの大切さを再認識した参加者も多かったのではないのでしょうか。



教職への思い

鹿児島純心女子大学
こども学科4年元山望
さんと迫田琴乃さんが
自分のこれまでの経験
等を踏まえ、将来に向
けての思いを語っ
てくれました。



小・中学生の頃の
夢に加えて、インター
ンシップの経験
が、二人の将来の希望にも大きな
影響を与え、また卒業後の道程は
異なりますが、教師になりたいと
の思いを堂々と語ってくれました。



初任の頃を振り返るとともに、
若手の先生方の育成に思いをはせ
る参加者も多かったのではないで
しょうか。

合同計画訪問が始まりました

5月16日(金) 出水市立大川内中学校・大川内小学校に出水市教育委員会と共に訪問させていただきました。

今年度は小学校23校、中学校8校の合同計画訪問を予定しています。学校によっては、指導主事と先生方の直接の意見交換も取り入れています。

各市町教育委員会と連携を深めながら、学校の活性化につながる訪問となるように心掛けていきます。

フレッシュ研修 今年も充実したものに

4月23日(水)に地区フレッシュ研修実施校長等連絡協議会を開催し、今年度のフレッシュ研修が本格的に始まりました。校内での研修に加えて、校外での研修も計画的に進め、充実したものにしたいと考えています。

フレッシュ研修が初任者の研修のみに終わらず、例えば、授業研究等を通して教職員相互の指導力向上につながることを期待しています。

活用してみましょ！ 家庭との連携に

子供たちの心身の健全育成には、家庭との連携は欠かせません。県教育委員会では、各種リーフレットを作成しています。ちょっとのぞいてみませんか。家庭との連携のヒントが見つかるかもしれません。各学校での有効活用を期待しています。



ネットいじめ等対策
リーフレット2013
(平成26年3月発行)



平成24年度特別支援教育
総合推進事業理解啓発資料
(平成25年3月発行)



平成25年度特別支援教育
総合推進事業理解啓発資料
(平成26年3月発行)



家庭教育1・2・3
~キホンをホンキで~
(平成26年4月発行)

鹿児島県家庭教育支援条例を踏まえ、作成されています。